

別名を コダチダリア<木立>、帝王ダリアといい、キク科、ダリア属に属しています。

私たちの菜園に開花しました。前年、咲いた株を移動しましたが、思いがけず、5本の幹に育ち、それぞれに花を付けました。名に恥じぬ立派な花で、青空に良く映えます。

背丈よりも高くなり、てっぺんまでは約3m、幹は孟宗竹のようにしっかりしていますが、風に弱く、台風の余波で根から傾いでしまい、菜園のポールで支えました。写真撮影は11/13の午前中です。この日も、花びらが西からの微風に吹かれています。



12月中旬の今は、すっかり霜にやられ、花、葉が薄黒くみすぼらしくなってしまう、根元から横倒しにしました。幹の中央部は空洞、竹の如し。根は短く、樹体に比べれば実に貧弱で、一人で根こそぎ引き倒すことができました。

図鑑で調べると、引き倒しではなく、節を挟んで切り離し、株分けし、土に埋めると来季発芽し、開花するとありました。

倒した幹はまだ枯れていません、天気が回復したら菜園へ向け一足飛びですね。

育て方として、人工的な明かりは禁物。街灯の近くや部屋の明かりがいつも当たるような所は蕾が付きにくくなるそうです。菜園で育てることは適地だったようです。



樹体に似合わないくらい、優しい色の花を付けます。



幹の間から富士山が遠望できました。

カメラ技術が優れば、ベストショットになったはずです。



西風を受けた花が可哀そうですが、背後は大山です。

